

「CFNIワークショップ」CD&DVD **最新作!**  
 「グレート・エクスチェンジ」  
**GREAT Xchange**



今だけの特別価格  
 ●価格 2,500円 → **2,000円** CD&DVD 2枚組送料込

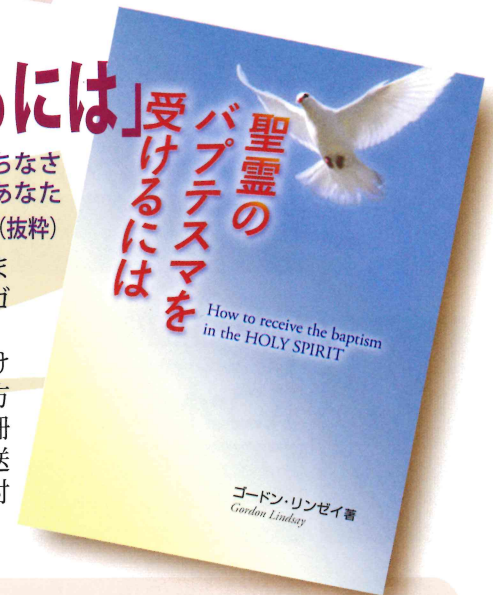
**無料**  
 プレゼント!

ゴードン・リンゼイ著 (復刻改訂版)

**「聖霊のバプテスマを受けるには」**

「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを受けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです」 使徒1:4-5 (抜粋)

聖霊の力なくして、私たちは勝利あるクリスチャン人生を歩むことは出来ません。全ての飢え渴いた人々を祝福するために、ただいまCFNJでは、ゴードン・リンゼイ著「聖霊のバプテスマを受けるには」の小冊子(改訂版)を製作中です。全てのクリスチャンにとって必要な聖霊のバプテスマを受ける秘訣がこの本に著わされています。CFNJではこの小冊子をご希望の方に無料でプレゼントいたします。教会単位でお申し込みになる場合は50冊単位で、個人の方は1冊から10冊まで、お申し込みください。喜んでお送りします。ただし、送料は実費を負担してください。お申し込みは随時受付中です。神様の祝福がありますように。



CHRIST FOR THE NATIONS JAPAN BIBLE SCHOOL

**信仰の頂きを目指して!**

**2008年度 新入学 4月生募集中!**

- コース・選択科目
- ★アルプス(牧師リーダー)コース
  - ★1・2年コース
  - ★CMP(児童・親業)コース
  - ★短期コース
  - ★通信・聴講制度
  - ★演劇・ドラマコース ★タンバリンクラス ★ワーシップダンスクラス ★ドラムクラス
  - ★フラッグクラス ★ピアノクラス ★バーナークラス ★英語クラスほか

ホームページ [cfnj.com](http://cfnj.com) CFNJ聖書学院 プロモーション VIDEO配信中!

※詳しい資料ご希望の方は、学院事務局までお知らせ下さい。



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

**CFNJ聖書学院**

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
 (0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: [www.cfnj.com](http://www.cfnj.com) 郵便振替: 02780-4-4688  
 ●e-mail: [office@cfnj.com](mailto:office@cfnj.com) 学院長/鍛冶川利文



「逃れの町」米村英二師

2007-2008  
 Merry Christmas &  
 Happy New Year!



学院スタッフ

**CFNJ NEWS**

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院 2008.12月号 NO.126



# 『逃れの町』 米村 英二 師

「あなたの神、主が、あなたに与えようとしておられる地の国々を、あなたの神、主が断ち滅ぼし、あなたがそれらを占領し、それらの町々や家々に住むようになったときに、あなたの神、主があなたに与えて所有させようとしておられるその地に、三つの町を取り分けなければならない。あなたは距離を測定し、あなたの神、主があなたに受け継がせる地域を三つに区分しなければならない。殺人者はだれでも、そこにのがれることができる。殺人者がそこにのがれて生きることができる場合は次のとおり。知らずに隣人を殺し、以前からその人を憎んでいなかった場合である。」

(申命記 19:1 ~4)

「しかし、もし人が自分の隣人を憎み、待ち伏せして襲いかかり、彼を打って、死なせ、これらの町の一つにのがれるようなことがあれば、彼の町の長老たちは、人をやって彼をそこから引き出し、血の復讐をする者の手に渡さなければならない。彼は死ななければならない。」 (申命記 19:11 ~12)

「あなたの神、主が、あなたの先祖たちに誓われたとおり、あなたの領土を広げ、先祖たちに与えると約束された地を、ことごとくあなたに与えられたなら、……そのとき、この三つの町に、さらに三つの町を追加しなさい。」 (申命記 19:8 ~10)



米村英二師

熊本県大津市  
大津キリスト教会牧師・学院顧問



上記の御言葉は、「逃れの町」についての規定です。

ヨルダン川の西にある約束の地に入って、そこに住むようになったなら、三つの町を、「逃れの町」として取り分けなければならないという命令です。ヨルダン川の東には、ルベン、ガド、マナセの半部族が住んでいたもので、すでにそこには三つの「逃れの町」が制定されていました。したがって今度はヨルダン川の西に三つ。合計六つの町が「逃れの町」として取り分けられました。後に西側の領土が広げられたならば、さらに三つの「逃れの町」を追加し、合計九つの「逃れの町」を設けよと命令されました。

## 「逃れの町」とは？

「逃れの町」とは何でしょうか？それは、意図的ではなく、誤って人を殺した場合、殺された人の家族による復讐から彼が逃れるために設けられた町のことです。

ヨシュア記には、誤って人を殺した人がそこへ逃げ込んだら、その町の長老はその訳を聞き、彼を保護し、復讐者に渡してはならないと書かれています。四国よりわずかに広い程度の国に合計九つの「逃れの町」があり、それらは国のどこからでも数時間で逃げ込めるような場所に分散されていました。しかも距離が測定され、道案内があり、どれぐらいでそこに達することができるかの指標が立てられていたというのです。誤って人を殺してしまった人が復讐者から逃げる時、分かれ道に来ると、「逃れの町」は、右へ三キロと書いてあるなら、道は明瞭であり、迷わなくて済みます。至る所にそういうサインが立っている親切な国、実にユニークな国です。

日本の古代社会に、そういうものがあつたのでしょうか？ともかくその逃れの町に逃げ込みさえすれば、人の憎しみ、恨みから救われ、追っ手から救われるのです。

## 現代の日本社会に「逃れの町」はあるか？

現代の日本社会は、この旧約聖書に描かれた社会ほどに親切でしょうか？ 私の息子がまだ学生の頃、ある店の駐車場の七階で、バックで急発進し後ろの車止めに破損させたことがあります。修理代は、数万円はかかるかもしれないと言われ、覚悟したものの、実際に請求書が来て驚きました。何と65万円という法外な額だったからです。その後、建設会社に働く私の弟に相談したり、弁護士に相談したり、親切な知り合いが交渉してくれたりして、ようやく最終の請求額は25万円になったものの、この出来事を通して、社会は、必ずしも寛大ではなく、誤って壊したものでも、その請求は、しばしば予想をはるかに超えることが多いと知ったのです。

教会の中で、起こった出来事でさえ、非常に厳しい現実を突きつけられることがあります。ある教会の牧師が話してくれたことですが、教会でバーベキューをしたとき、ある教会員が友人を招きました。バーベキューの火がなかなかつかないので、その人が着火剤を使った、そのとき、それが突然爆発して、彼の友人が顔にやけどをしてしまいました。その友人は女性だったのです。すぐに病院に運ばれ、入院し、治療にあたりましたが、わずかながら、顔に傷が残ってしまい、彼女は友人の加害者に1000万円の慰謝料を

要求したのです。しかし加害者は、もとは中小企業の社長でしたが、経営に失敗し、破産宣告をしたばかりでした。それで支払能力がないとわかると、やけどをした女性は、教会の敷地で起こった事故だからと言って、教会を訴え、1000万円を教会に要求し、裁判になってしまったのです。

こういう意図しない事故から、訴えられて、時には法外な請求を突きつけられることがあるのです。社会は決して寛大ではありません。それが現実なのです。それを思うと、3500年前のイスラエル社会において、意図的ではなく、誤って犯した罪に対してこれほど行き届いた親切の道が準備されていたことに私は驚きます。

もちろん誤って犯した罪であっても、無条件でゆるされたわけではありません。彼らは死ぬまでその町にとどまるほかはありませんでした。しかし、復讐者の手に渡ることもありませんでした。

## 「逃れの町」の3つの意味

### 1. キリストを表す

いったいこの「逃れの町」は何をあらわしているのでしょうか？ それは第一に、「私たちの神であり、キリストです。」詩篇は歌います。「あなたは私の隠れ場、あなたは苦しみから私を守り」また讃美歌作者は、「岩なるイエスはわが身を、みもとに引きあげ、裂け目の中に安けく、隠まいたまえり」と。父なる神も、イエス・キリストも、その最大の働きは、私たちの隠れ場であり、「逃れの町」であるということではないのでしょうか？ 辛いとき、悲しいとき、人に責められるとき、失敗したとき、どうしていいかわからないとき、私たちが向かうべきところは、この「逃れの町」です。四国ほどの小さな国に六つの「逃れの町」をつくることを命じ、さらにもう三つをつくるように命じられた神は、自ら、多くの人を受け入れ、赦すことに熱心な神であると思います。私たちは、へりくだって、ただ、父のもとに行きさえすれば良いのです。へりくだってイエスのもとに行きさえするなら、救いはそこにあり、希望はそこにあるのです。どんなときも神のもとに帰りさえすればよいのです。「逃れの町」は遠くではなく、常に近くにあるのですから。

### 2. 心の動機を区別する

第二に、「逃れの町」の規定から学ぶのは、「罪には意図的なものと、誤って行なうものがあり、神は、両者をはっきりと区別なさる」ということです。

意図的罪であれば厳罰に処せられます。しかし誤って犯した罪であれば、そのためには逃れの場を神は用意されたのです。このように神は、すべてのことにおいて動機をご覧になる方です。どんなよいことも動機が悪ければ評価されません。イエスは言われました。「その日には大ぜいの者がわたしに言うでしょう。主よ。主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇跡をたくさん行なったではありませんか。しかしそのとき、わたしは彼らにこう宣告します。わたしはあなたがたを全然知らない」と(マタイ7章

21節~23節) イエスは動機をご覧になるのです。反対に、たとえ目に見える業績はなくても、動機がよければそれは覚えられるのです。英国の詩人、ブラウニングは言いました。「われらが、善について欲し、望み、夢みしすべてはあり続ける」と。どんな小さな善でも、ただひとつの善でも、それが善であるかぎり、それは決して消えない。失われぬ。消滅しない。永久にあり続けるのだと。

たとえ実現できなくても、そう望み、夢見ただけで、それらの思いはむだではない。神に覚えられている。私たちにこの信仰があるからこそ、倒れても倒れても、もう一度、起きあがり、前進しようとするのです。その信仰こそが、私たちに善を行なうことへの情熱を与えるのではないのでしょうか？このように神は、動機をご覧になるのです。

### 3. 復讐の連鎖を断ち切る

第三は、「逃れの町」は、誤って人に危害を与えた人を復讐から救っただけでなく、復讐者による新たな殺人を阻止することにも役立ちました。神は、誤って犯した罪には寛大でも、計画的、意図的罪には厳しいのです。復讐者による殺人は意図的罪です。彼は計画的に、待ち伏せて、その人を殺すのです。神は「逃れの町」をつくることによって、無謀の血が流され、復讐者が意図的な罪を犯すことを防がれたのです。こうして神は、イスラエルの中から、復讐の連鎖を断ち切ろうとなさったのです。新約聖書によれば、復讐は禁じられています。それは神のなさることだと。むしろ聖書はこう言っています。「悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい」復讐がいけないのは、相手だけを糾弾し、自らを義としているところにあります。しかし正しい人などひとりもない。正しい方は神だけである。したがって復讐は神だけができるのです。

私たちは何と簡単に復讐の態度に出ることでしょう。不当に扱われたと思うと、もう我慢できないのです。しかし神は復讐を禁じられました。では、復讐をしないと、どうということでしょう。それは、相手を、「逃れの町」に逃がしてやるということです。私たちが意図的に傷つけようとする人は、必ずしも多くはありません。私たちが弱くて、傷つきやすいから傷つきます。しかし傷つくと私たちはすぐに思ってしまう。「ゆるせない！ あんな人とは知らなかった！ もう口をきくまい、かかわるまい！」と。でもそれは復讐です。そういう復讐の気持ちを持ち続けて私たちの心が平安であるはずがありません。

そこで神は言われました。「約束の地に入ったら、逃れの町を六つつくるように。そして後に占領地がひろがったなら、さらにそこに三つの「逃れの町」を追加し、合計九つの「逃れの町」を設けよ」と。私たちはどうでしょう。私たちも、自分の心の中に、できるだけ多くの「逃れの町」をつくるべきではないでしょうか。それはあやまって私たちが傷つけた人たちを、そこに逃がしてあげるためです。

彼らが領土の拡大とともに、「逃れの町」の数をも増やしていったように、私たちも、人間的成長とともに、自分の心の中に、「逃れの町」を増やし、もっともっと寛大な精神を学ぶべきではないでしょうか。■



# 2008 CALENDAR

「主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。」  
 民数記6章24節～26節



CFNJ聖書学院

2008年7月7日～9日 G8サミットが開催される予定の北海道、洞爺湖周辺

| 1月  |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金          | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----|------------|----|
| JAN |  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11         | 12 |
|     |  | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18         | 19 |
|     |  | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25         | 26 |
|     |  | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | ●15日/3学期開始 |    |

| 2月  |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----|----|----|
| FEB |  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
|     |  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|     |  | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|     |  | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |    |

| 3月  |  | 日  | 月  | 火       | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|---------|----|----|----|----|
| MAR |  | 2  | 3  | 4       | 5  | 6  | 7  | 8  |
|     |  | 9  | 10 | 11      | 12 | 13 | 14 | 15 |
|     |  | 16 | 17 | 18      | 19 | 20 | 21 | 22 |
|     |  | 23 | 24 | 25      | 26 | 27 | 28 | 29 |
|     |  | 30 | 31 | ●7日/卒業式 |    |    |    |    |

| 4月  |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木        | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----------|----|----|
| APR |  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10       | 11 | 12 |
|     |  | 13 | 14 | 15 | 16 | 17       | 18 | 19 |
|     |  | 20 | 21 | 22 | 23 | 24       | 25 | 26 |
|     |  | 27 | 28 | 29 | 30 | ●14日/入学式 |    |    |

| 5月  |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----|----|----|
| MAY |  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
|     |  | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|     |  | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|     |  | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

| 6月  |  | 日  | 月  | 火          | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|------------|----|----|----|----|
| JUN |  | 1  | 2  | 3          | 4  | 5  | 6  | 7  |
|     |  | 8  | 9  | 10         | 11 | 12 | 13 | 14 |
|     |  | 15 | 16 | 17         | 18 | 19 | 20 | 21 |
|     |  | 22 | 23 | 24         | 25 | 26 | 27 | 28 |
|     |  | 29 | 30 | ●6日～8日/YFN |    |    |    |    |

| 7月  |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金   | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----|---|----|
| JUL |  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11  | 12 |
|     |  | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18  | 19 |
|     |  | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25  | 26 |
|     |  | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | ●2日/1学期終了<br>●3日～5日/新りの祭典<br>●夏休み中/国内アウトリーチ |    |

| 8月  |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----|----|----|
| AUG |  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
|     |  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|     |  | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|     |  | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|     |  | 31 |    |    |    |    |    |    |

| 9月  |  | 日  | 月  | 火  | 水         | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|----|-----------|----|----|----|
| SEP |  | 7  | 8  | 9  | 10        | 11 | 12 | 13 |
|     |  | 14 | 15 | 16 | 17        | 18 | 19 | 20 |
|     |  | 21 | 22 | 23 | 24        | 25 | 26 | 27 |
|     |  | 28 | 29 | 30 | ●1日/2学期開始 |    |    |    |

| 10月 |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----|----|----|
| OCT |  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
|     |  | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|     |  | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|     |  | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

| 11月 |  | 日  | 月          | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|------------|----|----|----|----|----|
| NOV |  | 2  | 3          | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
|     |  | 9  | 10         | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
|     |  | 16 | 17         | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|     |  | 23 | 24         | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|     |  | 30 | ●28日/2学期終了 |    |    |    |    |    |

| 12月 |  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|--|----|----|----|----|----|----|----|
| DEC |  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
|     |  | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|     |  | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
|     |  | 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |    |



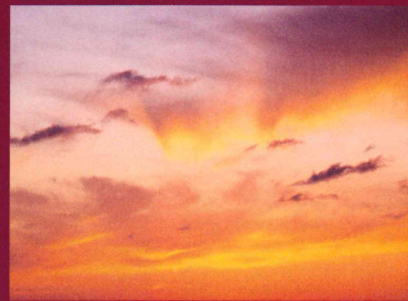
World Prayer and Share Letter



とりなし手の皆様へ

# 世界のための祈り

ダイアン・グリコ師



## 「全世界をさばくお方は、公義を行うべきではありませんか？」 死後の救いの可能性について

■もう何年も前のことになりますが、聖書学院生のある若い姉妹がとても悲しそうな顔をしていたので、彼女のために祈ってもいかにどうか尋ねました。私は、その時彼女が、「私の両親が地獄にいるのに、私はどうして幸せになんてなれるのでしょうか。」と答えたことを決して忘れることができません。

私のこのように答えました。「シェリー（仮名）、誰一人として人間は誰が地獄に行くかと言うことはできませんよ。裁きは神様だけがなさることですから。でも、私たちは天のお父様が義なるお方であることを知っていますし、あなたのご両親の永遠の将来について、天のお父様に信頼することができますね。また、私たちは天国で、誰がそこにいて誰がいなかったかということ、主と口論しないということも知っていますね。」

「これは事実です。天国で私たちは、自分ではどうすることもできない事柄について何も思わずらわうことなくイエス様の臨在の中で本当に喜びにあふれることでしょ。」それからシェリーに、主はあなたが一生悲しそうな顔をして過ごすことを望まれない、と説明しました。そして、私は象徴的に彼女の両親を彼女の手の平に乗せるようにお願いし、次のような祈りに導きました。

「主よ、ここに私の両親がいます。あなたは義なるお方であり、私は彼らの永遠の将来についてあなたに信頼するゆえに、彼らをあなたにゆだねます。」そしてシェリーは両手を頭上に持って行き、両手を広げて両親を神様に明け渡しました。

主がシェリーをいかに造り変えてくださったかを見るのは素晴らしいことでした。また、シェリーは喜びにあふれた人生を歩み始めることができました！なぜ、このお話がそんなに重要なのでしょうか？なぜなら、多くの信者が自分に理解できないことについて神様に質問し、神様を非難したりさえます。例えば、神様が愛の神ならなぜ人を地獄に行かせるのかなどと。しかし、神様はすでに人がイエス様を救い主として受け入れられるように、又私達が天国において永遠のいのちを持っていることを知ることができるように、必要なすべてのことを成し遂げてくださっているのです。

神様との出会いがなく、又は福音を聞くこともなく死んでしまったと私達が思っている人々についてはどうでしょうか？彼らの人生の中で、彼らが悔い改める機会も、神様に応答する機会もなかったと言う私たちは一体何者でしょうか？神様は人に善悪を判断するための良心をお与えになり、神様は人を悔い改めと救いに引き続けてくださっていると聖書は語っています。

神様のいつくしみを疑う代わりに、神様の創造やみことば、また、「この終わりの時には、御子によって語られた」（ヘブル1:2）ことを通してご自身をあらわしてくださったことを喜びましょう。私達がみことばを私達の最高権威として受け入れる時、悪をなすことができず、私達よりはるかに知恵ある神様の愛の御手の中にあることを認識します。

例えば、私達が御言葉を最高権威として受け入れるなら（ヘブル9:27「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」ことも含む）、魂が永遠の「無」に至って解放され

るまでは下等生物にさえなると教える輪廻転生という悪霊的な教えを受け入れはしないでしょう。

また、この聖書箇所は、神は愛なるお方なので罪を罰さないで、すべての者に死後の悔い改めと救いのためのセカンドチャンスがある、と信じることから私達を守ってくれます。これは私達の罪のためにイエス様が十字架にかかって支払われたその代価を無意味なものにしてしまいます。というのは、この教えは、人々が罪責感を覚えず、聖い人生を歩まず、未信者に福音を伝える必要もないと考えさせるのです。

生けるみことばであられるイエス様はヨハネ8:26~28で言われました。「わたしはその方から聞いたことをそのまま世に告げるのです。・・・ただ父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話しているのです」死後のいのちのペールを取り除いたイエス様（ルカ16:19-31）がセカンドチャンスという古くからある誤りを論破するのです。

ルカ16章でイエス様は実在した二人の人について教えておられます。貧乏人ラザロと金持ちの男は死んでどちらもハデス\*に行きました。（\*ハデスとは、2つの区画からなる死後の世界を意味するヘブル語。）金持ちは苦しみもがき、貧乏人はアブラハムのふところ、パラダイス\*\*と呼ばれる旧約時代に神を信じた者達とともに安全なところにいました。イエス様は、金持ちは地獄で苦しみに会い、貧乏人は永遠の命が保障されているということをほのめかしているではありません！むしろ、私達の永遠の将来を決めるのは、私達と神様との関係であることをアブラハムとラザロの会話によって啓示されたのです。（\*\*旧約時代に神を信じた人々は、イエス様の復活の時にハデスから解放され、今や天のパラダイスでイエス様とともに過ごしています。）

- ルカ16:19~31から、金持ちの男について次のことを学ぶことができます：
- 1) 彼はまだ悔い改めず、自分に焦点を当てている。
  - 2) 助けて欲しいと願うが、義とされた信者と共に一緒にいたいという態度は全くない。
  - 3) 身体的に苦しんでいた。
  - 4) ハデスには、死んだ義人と死んだ不義なる人の間に「淵」があり、埋められることはない。
  - 5) たとえ死んだ者が地上にいる未信者に証しをしたとしても、彼らが自動的に自らの罪を悔い改めることを意味するわけではない。

注意してください！私達の敵である悪魔は信者を混乱させるために、又、他の人に赦しと救いの福音を分ち合うことから信者を妨げるために間違った教義やカルト、人間の誤りを用いるということを知りましょう。聖霊様をあなたの人生に歓迎しましょう。なぜなら、聖霊様は信者をすべての真理に導くとイエス様がおっしゃったからです。みことばは言っています；「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の恵みにまで及ばれるからです。」（1コリント2:9 - 10）

神様を愛し、イエス様を愛し、聖霊様を歓迎し、みことばを大切に、神のなさることはすべて義であることを覚えましょう！神様に賛美と誉れと栄光をとこしえにささげましょう！  
文責 ダイアン・グリコ

# 3学期・新年度のゲストスピーカーのご紹介

●ゲスト講師の授業は、聴講は無料（席上献金あり）ですが、アルプスコースとCMPコースは有料となります。詳しくは事務局までお問い合わせください。



## ●2008年1月21日(月)~25日(金)

全日本リバイバルミッション代表  
リバイバル聖書神学校校長

### 有賀喜一師

●1・2時間目（全体授業）



## ●2008年2月4日(月)~8日(金)

ファミリー・フォーラム・ジャパン  
責任役員、性教育コーディネーター

### ジョナサン・ベネディクト師

●CMP / 午前9:15~11:25までの2時間  
●全体 / 11:35~12:30までの1時間



## ●2008年3月3日(月)~6日(木)

横浜グレースバイブルチャーチ牧師

### スコット・ダウマ師

●1・2時間目（全体授業）  
（午前9:15~11:25までの2時間）  
7日は卒業式、午前九時より



## ●2008年4月14日(月)~18日(木)

草加神召キリスト教会牧師

### 天野 弘昌師

高校時代に、母親が聖書の言葉によって精神病から癒されるのを目の当たりにして、信仰を持つ。法政大学卒業後、英国ケンブリッジ大学留学。1983年米資系銀行（現JPモルガン銀行）に入社、ウォール街にて外国為替業務に従事する。1988年主の召しに応答。1991年神学校を卒業後、草加市にて開拓伝道。現在は多国籍の人が集う国際的な教会に成長し、支教会を日本で14箇所、マニラ、フィリピンの島々に23箇所設立。それら併せての総礼拝出席数は2,000名に及ぶ。

●1・2時間目（全体授業・午前8:45~10:55迄の2時間）  
●14日は入學式、午前9時より

## 新講義の紹介

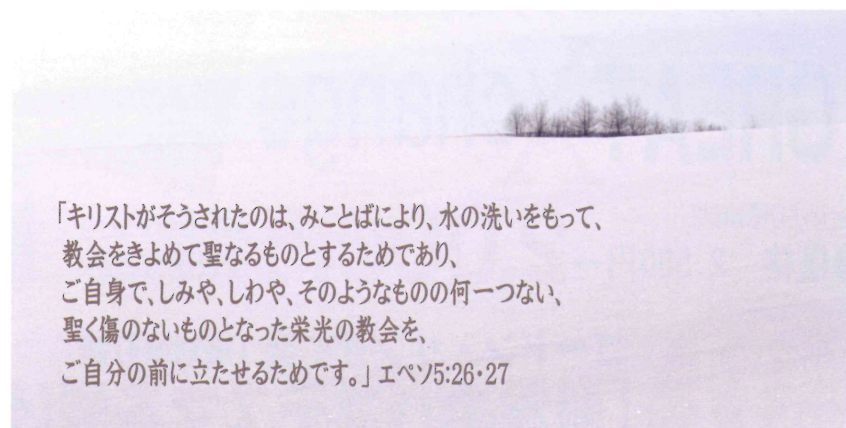
### 「今日のイエス・キリストの奇跡」

●講師/ジェリー・ジャンセン師  
（ICF教会牧師）



■CFNは創立前の1948年に「ヴォイス・オブ・ヒーリング」というミニストリーとしてスタートしました。CFNのDNAを継承するCFNでは、2008年3学期から「今日のイエス・キリストの奇跡」という講義を始めます。講師は、近年様々な癒しのみわざで用いられている、ICF教会のジェリー・ジャンセン牧師です。ジェリー先生の授業ではすでに癒しが起こっており、来学期からの講義が期待されています。

※聴講ご希望の方は事務局にご連絡ください。



「キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。」エペソ5:26・27

## CFNJ聖書学院 2007年度 3学期の講義予定

(2008年1月15日~3月7日) (敬称略)

### 1・2年コース

|                                | 月                    | 火                    | 水              | 木                  | 金                           |
|--------------------------------|----------------------|----------------------|----------------|--------------------|-----------------------------|
| <b>1時間目</b><br>AM9:15~10:10    | 信仰と決断<br>田中 信矢       | 旧約聖書概論3<br>田中 博      | 終末論<br>松原 望    | セルグループの実践<br>三浦 雅範 | 創造科学2<br>オラフ カートハウス         |
| <b>2時間目</b><br>AM10:30~11:25   | 信仰と決断<br>田中 信矢       | 旧約聖書概論3<br>田中 博      | 終末論<br>松原 望    | セルグループの実践<br>三浦 雅範 | 創造科学2<br>オラフ カートハウス         |
| <b>3時間目</b><br>AM11:35~PM12:30 | 聖書的自己像<br>ジェラルド・グドール | 聖書的自己像<br>ジェラルド・グドール | 聖書の女性<br>鍛冶川紀子 | 賛美礼拝の計画<br>岡田留美子   | 今日のイエスキリストの奇跡<br>ジェリー ジャンセン |

### アルプスコース

|                                | 月                    | 火                   | 水                      | 木                | 金                    |
|--------------------------------|----------------------|---------------------|------------------------|------------------|----------------------|
| <b>1時間目</b><br>AM9:15~10:10    | 断絶世代とつながる為に<br>藤江 勇士 | 牧会カウンセリング3<br>小栗 昭夫 | リーダーシップの21の原則<br>鍛冶川利文 | 牧会伝道の実際<br>石田 吉男 | 教会の一致と宣教の拡大<br>西森 昌二 |
| <b>2時間目</b><br>AM10:30~11:25   | 断絶世代とつながる為に<br>藤江 勇士 | 牧会カウンセリング3<br>小栗 昭夫 | リーダーシップの21の原則<br>鍛冶川利文 | 牧会伝道の実際<br>石田 吉男 | 教会の一致と宣教の拡大<br>西森 昌二 |
| <b>3時間目</b><br>AM11:35~PM12:30 | ティスカッションクラス          | 祈り2<br>田中 博         | 上級説教<br>松原 望           | 祈り2<br>田中 博      | 上級説教<br>松原 望         |

### CMPコース

|                              | 月                    | 火              | 水                      | 木                   | 金                   |
|------------------------------|----------------------|----------------|------------------------|---------------------|---------------------|
| <b>1時間目</b><br>AM9:15~10:10  | 断絶世代とつながる為に<br>藤江 勇士 | 神を味わう<br>小栗由美子 | 子供のライフサイクル<br>ダイアン・グリコ | 聖書の愛と性<br>稲本妃美子     | 創造科学2<br>オラフ カートハウス |
| <b>2時間目</b><br>AM10:30~11:25 | 断絶世代とつながる為に<br>藤江 勇士 | 神を味わう<br>小栗由美子 | 子供のライフサイクル<br>ダイアン・グリコ | ユースカウンセリング<br>岡田留美子 | 創造科学2<br>オラフ カートハウス |

### 選択科目

|                            |                 |                     |                   |                   |                   |
|----------------------------|-----------------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| <b>午後</b><br>PM13:30~15:30 | ピアノクラス<br>稲本妃美子 | ポイストレーニング<br>グドール明美 | タンパリンクラス<br>木村 知子 | <b>実習</b><br>(必修) | ドラマ演劇クラス<br>鍛冶川紀子 |
|----------------------------|-----------------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|

●お詫びと訂正のお知らせ/先月号(2007.10月・11月号 NO.125)の中での新入生のご紹介で、「劉 桂英」姉妹と「島袋 りか」姉妹のコメントが逆になっていました。訂正してお詫びを申し上げます。